

平成24年度（第1回）二宮町文化財保護委員会議 会議録

日 時 平成24年5月24日（木） 13:30～15:30

場 所 ラディアン ボランティアルーム

出席者 （文化財保護委員） 奥村清委員、加藤孝次委員、橘川卓司委員 杉山幾一委員、
西山明子委員、山口眞弘委員

（事務局） 内海教育長、宮川参事兼生涯学習課長

志賀生涯学習班長、中山文化財保護事務嘱託員

傍聴者 なし

資 料 （1）平成24年度文化財保護関係事業および予算について

（2）平成24年度バーチャル郷土館の整備計画について

（3）文化財保護委員会調査研究事業「にのみやの講」について

1、開会

2、委嘱状の交付

教育長より各委員に平成25年度までの文化財保護委員を委嘱。

3、教育長挨拶

4、委員自己紹介

5、委員長および副委員長選出について

委員長は加藤孝次委員に、副委員長は杉山幾一委員に決定。

6、議題

（1）平成24年度文化財保護関係事業および予算について

事務局より、文化財保護関係事業及び予算について説明。

（委 員） 昨年の台風で壊れてしまった町指定文化財の等覚院の藤棚の修理費として臨時に
10万円の予算が計上されていますが、その金額の根拠は何ですか。

（事務局） 修理費の見積もりを提出してもらい、その半額とまではいきませんが、10万円を
補助することとなりました。

（委 員） 臨時の修理費等の補助金に関しては、かかる費用の何%まで、最高額はいくらまで

と、明文化しないまでも基準をはっきり決めておかないと問題が生じる場合がありますが、いかがでしょうか。

(事務局) 検討します。

(2) 平成24年度バーチャル郷土館の整備計画について
事務局より内容の更新予定について説明。

(3) 文化財保護委員会調査研究事業「にのみやの講」について
事務局より平成19年度より平成23年度までの調査状況を説明。

(委員) 調査がだいぶ進んだので、そろそろ『にのみや再発見 6』として出版できるよう、まとめに入らないといけませんね。

(委員) 調べたことをすべてまとめるとなると膨大な量になりますので、内容を絞ってはどうでしょう。

(委員) 二宮町として特徴的な講を紹介したいですね。

(委員) 特徴的と言うには他の市町村との比較が必要になりますし、まだすべての講を調べきった訳ではないと思うので、もう少し時間をかけて地道な調査をしたほうが良いと思います。

(委員) 中里の貝ヶ窪に「屋根講」の史料が残っており、このような史料は他の地区では見られないので、これなどを取り上げたいかがですか。

(委員) 「屋根講」は茅葺き屋根の葺き替えを相互で助け合うという「無尽講」にあたり、今回の研究テーマである「二宮に残る信仰の講」からは少しはずれてしまうので、そこまでは範囲を広げなくて良いのではないのでしょうか。

(委員) 「念仏講」はお寺との関係も考えなければならないと思うのですが。

(委員) 昔はお葬式の時に家の宗派に関係なくおばあさんたちが集まって念仏を唱えていましたね。

(委員) 一色の宮根では念仏を唱える「念仏講」はもうなくなってしまいましたが、葬式を取り仕切る「念仏講」は形式的ですが残っています。

(委員) それなどは講が社会の変化に応じて変わっていった例ですね。

(委員) 今後文章としてまとめていくとしても、調査は継続し、さらにそれぞれが研究していることに検討を加えなければならないと思いますので、定期的に勉強会を行いましょう。

(事務局) 日程を調整してご連絡します。

7、閉会